



社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.168 (2011-5)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2011.10.1発行

発行者：(社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-8575 大津市御陵町3-1
大津市健康保険部 健康長寿課
電話 077-528-2741 FAX 077-526-8382

編集者：龍本 隆(公立甲賀病院)
内門 隆廣(公立甲賀病院)
前田 純治(あそうクリニック)

印刷所：(有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

頼りにしています。理学療法士さん！

公立甲賀病院訪問看護ステーション

所 長 山 脇 みつ子

早いもので、介護保険制度が始まり11年が過ぎました。

12年前の私は、長年の訪問看護業務に疲れ、仕事を辞めることを考えていました。そんな中、時の流れのようにケアマネジャーの試験を受け、年が明けて4月から全国一斉、他の仲間と一緒に新米のケアマネジャーになりました。当時、医療は分かっているけど福祉用具や住宅改修といった内容はさっぱり分からないままの自分と、これまたケアマネジャーとは何をする人か十分に分からないと思われる利用者様やご家族の間で期待に応えるべく奮闘する日々が始まりました。そんな時、肝腫瘍の脊髄転移のため下半身麻痺となったNさんのケアマネを引き受けることになりました。Nさんは病気以来、外出がままならず、介護保険をきっかけに外出し、他の人達と交流を望まれました。その希望に対し、デイサービスを予約するところまではできましたが、日中は高齢の夫と二人で過ごすNさんがどうすれば外出できるのかさっぱり分からず、一緒に訪問していた理学療法士（以下PT）に相談したところ、寝室の掃き出し窓のところに升降機を設置してはどうかと提案してくれ、業者を紹介してくれました。外溝の改修の際には業者から身障制度を利用することなども教えてもらい、高齢の夫にPTは、車椅子への移乗方法を丁寧に指導してくれ、晴れてNさんは太陽の下に身を晒し、デイサービスに参加出来る様になりました。その後、頻繁に外出できるようになり、孫の運動会も見に行くこともでき、生活の質が向上したのは言うまでもありません。あれから数知れず、多くのPTのお世話になっています。

12年が経ち、地域リハビリは既得権を得て在宅サービスとして認識されるようになりましたが、入院中のリハビリはどのように変わったのでしょうか。

入院中、患者様は居宅とは異なったバリアフリーで車椅子がゆうゆうと通れる広い廊下と手すりのあ

る安全な環境で過ごされ、大半の方は訓練室でリハビリをされています。

長年、様々な病院から在宅に戻られる利用者様を担当していますと訓練室での練習が在宅生活に結びついていないのでは？といったケースがしばしば見受けられることです。訓練室と在宅の以前に、訓練室でのADLと病棟でのADLから既にギャップがあるケースもしばしば見受けられます。これらのギャップを改善するには、入院中の患者様には訓練室での練習が病棟でも活かされるよう看護師と連携する必要がありますし、退院を目標としている患者様には入院前の生活状態や環境を家人・ケアマネに確認し、ゴール設定の参考とし、退院後の生活仕様などをケアマネジャーに積極的に提案していただければと思います。そうすることで、入院中のリハビリが生きてくるのではないのでしょうか。現在、家族・ケアマネジャーだけでなく多職種と連携し、利用者の能力が最大限活かされる支援が求められています。在宅では他機関・多職種が一緒になってのケアチームが構成され、ケア目標を共有しているが、その中でもリハビリセラピストは利用者様のやりたいことを支援する一番のキーマンであると思っています。もっと多くのセラピスト達が地域の中での役割を認識し、地域に出向き、在宅ケアチームの一員として、その知識と技術を発揮されることを望みます。地域ではPTの力を必要としています。介護保険制度改革に向け、軽度者や訪問リハステーションの創設についても議論されているところです。

下半身麻痺後、初めて外に出たNさんの笑顔は私は忘れることができません。その時にお世話になったPTと福祉用具業者の方に感謝を忘れることなく、不便でもやはり自宅で暮らしたいと考える利用者の毎日の生活を支えるために、現在は訪問看護とケアマネジャーの2足のわらじを履いています。これからもPTが一番頼りにしている仲間であり続ける。

平成23年度 第4回滋賀県理学療法士会理事会報告(要約)

日 時	平成23年 7 月14日 (木)	18時00分～20時00分
会 場	滋賀医科大学付属病院	リハビリテーション部
議 長	本白水会長	
出席者	平岩、宇於崎、松岡、弘部、柴田、酒井、久保	

○審議事項

1. 震災対応について

公でない震災支援については、士会が単独で活動することはせず、協会や近畿ブロックと連携し、本土会としても活動を検討していく方向で再確認。

2. 公益法人について

公益法人取得に向けて、準備を進めている段階である。

3. 来年度の方針について

- ・現在開催している月1回の理事会だけでは、詳細な事業計画や方針の決定をする時間が取れないため、来年度は、早ければ今期からでも、幹部（会長、副会長）会議を理事会とは別で開催し、事業計画などの詳細を議論する場の設定を行っていく。
- ・現在の理事は9名で運営しているが、各理事の業務負担が急増していることに関して、理事を11名体制にしていくことを検討する。
- ・地域包括ケアでの理学療法士の関わりについて、今後の職域拡大も見据えて検討していく。
- ・県士会で様々な活動が展開されているが、県内ブロック化を進め、各地域ごとに研修会や厚生部事業などを行い、会員が参加しやすい環境作り、内容の充実を図っていくことを検討する。
- ・各県士会の中でも、本土会は全国学会を誘致した経歴がないため、今後、滋賀県で全国学会が誘致されるように働きかけていく。
- ・滋賀県が考える医療福祉のイメージ図の中にリハビリテーションが明文化されており、その重要性が確認できる。それに伴ない、理学療法士の貢献、質的向上を目指す必要性がある。

4. その他

○報告事項および承認事項

1. 各部・各委員会の活動について

総務部：会員数：625人、施設数：108施設

財務部：小沢会計事務所に財務関係と公益法人への移行作業を委託した。

郵送物の返送が多くなっていたため、士会の名簿と協会の名簿を比較したところ、協会の名簿に間違いが見つかったため、早急に修正を依頼した。

会費納金に関して、楽天カードへの移行が本年度から始まり、7月引き落とし、8月以降に各士会へ納金されるため、8月までの事業開催は士会の財政的に困窮する可能性がある。

第4回糖尿病市民講座および滋賀県作業療法士学術大会への後援依頼を受諾した。

IT部：モペラ（携帯端末）について検討中

広報部：8月発送予定の士会ニュースの準備を進めている。

ホームページや士会ニュースを会員がもっと活用できるような内容を検討し、士会関係の活動をホームページや士会ニュースに掲載することや、士会ニュースの投稿案内や学会発表規約など、会員が困ったときの情報が収集できるホームページとしての活用も検討していくように理事会より提案。

厚生部：フォトコンテストの結果集計終了。優秀賞作品はホームページや士会ニュースに掲載する予定。その後賞品の発送を行う。開催案内が各施設に配布された。

6月26日（日）にあたか飯店 浜大津店で新人歓迎会が開催された。参加者50名（内、新入会員：42名、既存会員：8名）であった。

会員企画事業への応募が2件あった。今年度はその2件に対し、厚生部から支援させていただくことで決定。1つ目は、8月開催予定のゴルフコン

べ、2つ目は11月開催予定のフットサル大会である。

公募事業への応募依頼を従来であれば、総会後から8月までで募集しているが、その方法だと、申し込み順に開催することになり、後半に新たな企画が持ち込まれても、開催できない可能性もあるため、来年度からは、募集期間を早めて、全ての応募を締め切ってから、応募された企画の中から開催する企画を選択する方法で運営するほうが望ましいと理事会から提案。

研修部：第2回研修会に向けて、実技用マットを購入。会場が彦根サンパレスに変更された。

第3回研修会は参加人数制限をかけているため、多数の応募があった場合は、士会員を優先する。研修会の記録を残していくためにデジカメの購入依頼が出ている。購入する方向で決定されたが、各部が使用できるようシステム化を図ることが条件とされた。

生涯学習部：協会の生涯学習システムが8月から稼動する予定

学術誌部：査読者依頼を33名に郵送し、30名の承諾が得られた。

教育部：研究助成事業への依頼は現在のところ0件。アンケートは今月中に完成し、郵送予定。

診療報酬部：7月21日(木)に第1回研修会を南草津病院で開催予定。講師は並河前会長に依頼済み。

介護保険部：PTOTST合同研修会はOT士会が中心に計画され、H24年1月15日(日)に滋賀の地域リハ推進に向けての講演とグループワークを計画中。

職能部：公益法人取得に向け準備を進めている。

保健福祉部：特に報告事項無し

公益事業部：8月末に高校生の理学療法体験を実施する。現在25名ほどの参加希望がある。(57校)アンケート調査を57校に対して実施していく予定。近江仕事フェスタに関しては、参加する方向で検討。

表彰委員会：各方面からの表彰者推薦などが非常に増加している。理学療法士の年齢も受賞条件に適合するようになったこともあり、受賞推薦が増加。県士会としても名誉なことなので適任者を推薦していく方向で考えているが、業務量が膨大であり、現在の活動人員では到底対応しきれないことから、表彰委員会を部として活動していくこととなる。

2. その他

学会での講師交通費の支払いについて

- ・交通費が1万円などのように用途が不明確な交通費の請求は認められないとの監事からの意見があった。これまで認識が甘かったことを反省材料とし、今後は適切な財務管理、会計報告を実施していくことを周知徹底していくこととなった。

倫理審査委員会について

- ・OT士会、ST士会とも協力し、学会発表に対する倫理審査委員会を立ち上げる方向、詳細は今後検討。

公衆衛生学会について

- ・今年度も柴田理事に参加いただくことで決定。

近畿学会について

- ・一般演題が123演題応募があった。今後はタイムスケジュールに沿って進めて行く。

会長行動録

6月28日(火) 滋賀県リハビリ3士会会議

7月12日(火) 県リハビリテーション協議会

7月14日(木) 理事会

7月17日(日) 事務局での文書整理

7月28日(木) 総合リハビリテーション推進会議

8月3日(水) 滋賀県医療審議会

8月4日(木) 近畿学術大会準備委員会

8月6日(土) 近畿ブロック士会長会議

8月24日(水) 近畿学術大会運営局会議

第51回近畿理学療法学術大会が開催するにあたり

大会長 本白水 博

第51回近畿理学療法学術大会が、平成23年11月13日（日）9：00より、大津市の県立びわ湖ホール及び、びわ湖ホールの隣にありますピアザ淡海で開催致します。ニュースがお手元に届く頃には、大会まで約1ヶ月と迫り、前川準備委員長を中心に各部員が最後の追込みに取り掛かっていることと思います。各局、各部、各係でもう一度学術大会までのタイムスケジュールや執行状況の再確認をお願いいたします。

県立びわ湖ホールは、大ホール1844席、中ホール800席、小ホール323席を有し、オペラやクラシックを専門に開催するように作られた日本有数のすばらしい施設であり、広いホワイエからはびわ湖が一望できます。ピアザ淡海は、本会でも多く使用する施設であり、426席のホールで口述発表を行い、大会議室等においてポスターセッションを予定しています。

本学会のテーマを「理学療法の核～臨床実践から学ぶスピリッツ」としました。養成校の急激な増加に伴い、毎年1万人以上の理学療法士が誕生することにより、需給関係が逆転することが予測されます。また、理学療法の業務範囲が理学療法士の増加とともに拡大し、これからは量的拡大から質的向上を如何に高めていくかに重点を置かなければなりません。そのためには、理学療法の「核」言い換えれば、「へそ」「中心」とも言えるべき共通の専門性を持ち、医療や介護分野だけでなく、社会的にも認められることが何よりも大切です。

特別講演は、理学療法士であり衆議院議員の山口和之先生に「医療、福祉改革と理学療法の今後の方向性」として今後のビジョンについてご講演をしていただきます。プレコンgressセミナーは、竹井仁先生に「姿勢の評価と治療」、古澤正道先生には「脳卒中後の上肢手へのボバースアプローチ」をお願いしています。シンポジウムでは、「徒手療法の融合～理論的背景と評価方法から考えて～」をテーマに議論をしていただきます。市民公開講座は健康・美容をキーワードに「快適な体をつくる～女性の身体変化とボディケアのヒント～」と題して石井美和子先生にご講演をしていただきます。



教育講演は、がん・心リハ・神経系・運動器系・生活環境支援系の5講演を予定しています。演題数は約120演題を予定しています。

開催日の11月13日は紅葉の季節であり、旅行などの行事が入りやすい時期となっていますので、11月13日は手帳に「学会」と予定を取っていただき、是非とも多くの方々のご参加をお願い申し上げます。また、当日は近畿各府県から多くの参加者が来られますので、滋賀の学会に来て良かったと思えるような「おもてなし」の心を持って県外の方を温かく迎えましょう。



震災支援ニュース

東日本大震災における リハビリ支援活動への協力について

滋賀県理学療法士会 会 長 本白水 博

平素より当会事業につきましましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

震災から5ヵ月を経過し、さまざまな地域で医療チームが撤退しているように医療救護班における役割は一つの区切りをつけております。それに引き続き、今後の生活を見据えた新たな支援の形が模索されるようになりました。そのながれを受け、宮城県理学療法士会として新たな支援活動を展開する運びとなり、当士会においても協力の要請をお受けいたしましたので、支援活動について下記のとおりご報告申し上げます。

記

【名 称】 東日本大震災におけるリハビリテーション支援活動

【目 的】 震災後、日常生活活動の低下を生じたケースや仮設住宅での生活に何らかの障害を抱えるケースに対して支援を行うこと。また、リハビリテーションの視点から健康増進や介護予防における指導・助言を実施し、地域における住民支援の一助になることを目的とする。

【活動期間】 平成23年8月22日～平成24年3月31日

【活動日数】 月曜日～金曜日の5日間

【活動拠点】 石巻市渡波地域包括支援センター

【活動内容】

- ①仮設住宅・避難所・在宅での個別相談（個別評価と運動指導など）
- ②通所介護スタッフへの指導：集団体操を通じて運動指導を行う（1回／週）
- ③介護予防教室：大規模仮設集会所3ヶ所にて月一回の教室を実施（9月より開始）
- ④サロン：生活コミュニティー支援が行われているなか、利用者のリハビリ相談を行う。

《災害支援ボランティア情報》

宮城県理学療法士会 HP のトップページにある「渡波（月～金）専用ページ」からお入りください。「宮城県災害支援のながれ」があります。（2）渡波災害支援登録ページから「登録状況」を確認できます。（4）渡波地区の情報から下記 URL につながり「現地情報や活動の詳細」をご覧ください。

「石巻市渡波地区リハビリ支援情報」URL <http://m-ishinomaki311.jimdo.com>

※現地情報は随時更新されます。

当士会窓口を下記に設置し、参加者を募集して、日程やペアを調整したのちに、宮城県士会へ登録するまでのお手伝いの調整を行います。お気軽にお問い合わせください。

【滋賀県士会調整窓口】 生田病院 リハビリテーション科 辻 修 嗣

TEL (0748) 74-8577 E-mail shuji-tuji5260@gmail.com

震災支援ニュース

滋賀における震災支援の 課題と今後について

生田病院 辻 修 嗣

「理学療法士が震災支援をどのように行っていくか？」

そんなことはこの震災まで考えることは無かった方が多いと思います。内陸部に位置する滋賀県では特にそう感じます。私もその一人です。東北地方の理学療法士会では以前から災害対策局を設置し委員会も開いていたそうです。近畿では和歌山県が災害対策局なるものを設けているそうです。

私はこの3月に福島へ最初のリハビリ支援に入ってから何の因果か合計4回東北へ行き、今では宮城県理学療法士会の災害対策本部と繋がりを持つようになっていました。そんななか見えてきた理学療法士の課題や方向性について報告したいと思います。滋賀では今回、福島会津地方における災害救護において初めて理学療法士の派遣要請を受けました。しかし初めての経験であり何をすべきか気負いもみられたようで、個々の理想や日常の病院の理想を当てはめる意見が優先していたように感じます。それは、会津保健福祉事務所の保健師さんにお話を伺った際、理学療法士によって支援に対する考えが異なり困惑されていたことを知ったからです。また、理学療法士を医療班に一人だけ加えて参加するチームが多かったのですが、滋賀県病院協会が撤退する際に行われた反省会では、理学療法士を医療班に入れるよりも、理学療法士チームで参加した方が医療班もリハビリ班もお互いうまく機能するであろうという意見でほぼ一致していたそうです。そうすると、滋賀県における医療救護に対する理学療法士の役割を明確にし、その準備をすすめる必要が出てきます。これはまた、理学療法士のあり方を考えるいいチャンスでもあると捉えることもできます。

今回、支援に対する姿勢においていい例にしたのが、「自衛隊」です。臨機応変にリアルタイムに地域のニーズに答えていきました。正しい時間に正しい場所で正しい話をする「タイミング」があるそうです。私たち理学療法士も、必要な時期に必要な支援を心掛けてすすめていきたいもので

す。

震災から4カ月を経過し、福島の会津地方をはじめ多くの地域で医療救護班が撤退を行いました。第一避難所も徐々に閉鎖されていっています。それと同時に新たな支援の形が模索されるようになり、今後の生活に目が向けられました。するとそこには震災後廃用によってADLレベルが大きく低下したケースが多くみられ、仮設住宅は障害をお持ちの方が生活する上で様々な問題があるといった実態が浮き彫りになってきました。そのようななか宮城県石巻市でも仮設住宅などへの支援体制がようやく具体的に動き始め、宮城県理学療法士会にも多方面から協力依頼が寄せられるようになりました。そのながれを受けて今回当士会をはじめ近畿や東海地方へもリハビリ支援の協力依頼が送られたのです。このボランティアへの参加は望まれるタイミングであり、そしてそれは今後の滋賀県での体制作りに生かされることになると思います。



平成23年度 第2回研修会に参加して！

滋賀医科大学医学部附属病院

リハビリテーション部 飛田 良

先日、8月7日(日)に、ひこね燦ばれすにて開催されました第2回研修会に参加させて頂きました。今回は、呼吸リハ分野にて第一線でご活躍されている愛知医科大学病院の岸川典明先生が講師として招かれ、「症状に対応した呼吸理学療法の展開」をテーマに御講義頂きました。

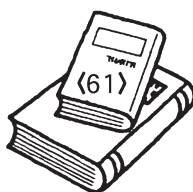
午前の座学では、呼吸不全の病態生理の基礎から、実際の臨床の場での急性期/慢性期での呼吸理学療法の概要を、さらに午後には、聴診、打診、呼吸介助手技の実践的なテクニックを実技形式で学ぶことができ、即座に翌日の診療に活かせる、非常に有意義な場となりました。

また、下側肺障害のリスクと腹臥位療法の重要性を説かれ、セラピスト一人の力でなく、病棟スタッフとの協力が必要不可欠であると改めて実感しました。今回の場で学んだことも踏まえ、セラピスト側から率先して、体位変換や離床の重要性を他職種に訴えていくべきだと考えました。

最後に、今回ご指導頂きました岸川典明先生及び研修会の準備に尽力頂いた研修部の先生方に厚く御礼申し上げます。



読みました！



神崎中央病院リハビリテーション科 戸嶋 清 将

みなさんは身の回りの整理整頓が出来ますか？自宅の部屋、かばんの中、職場のロッカー…なかなか思うようにきれいに片付いていない、片付けたのにすぐにぐちゃぐちゃになってしまう…そんなことはないですか？僕もよく身の回りが大変なことになることがあります。この本は、かたづけるとは何か？かたづけることでどのようないいことが起き得るのかを教えてください。

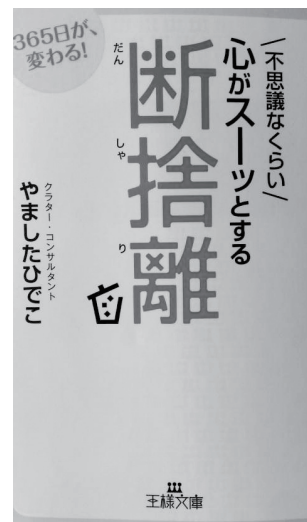
タイトルにある断捨離(だんしゃり)とは、ヨガの“断行”“捨行”“離行”という執着を手放すための教で、この本では、「モノを捨て、片づけることで、心のガラクタもスッキリ整理し、人生をごきげんに変える方法」としています。著者のかたづけとは、収納グッズを買ったり、おしゃれインテリアを飾ったりなどではなく、モノを少なくし、自分に今必要なモノだけをしばらく込み、空間的ゆとりをつくることで気持ちのゆとりにつなげていく…気持ちのゆとりをつくれることで、やがて自分の心の中や運気といった見えないモノにまで影響を与え、健康、仕事、お金、人間関係とさまざま場面でいいことが起こるとしています。実際、身の回りが汚いと違って気持ちにゆとりがなかったりしますよね。

整理整頓できない方だけでなく、最近気持ちにゆとりが持てていない、イライラ、モヤモヤすることが増えたな…そんな方も一度この本を読んでみてください。そして、片づけるとは何かを知り、片づけることで身の回りで何かいいことが起こっていくかもしれませんよ。

【題 名】

不思議なくらい心が
スーッと断捨離

著 者：やましたひでこ
出版社：三笠書房



厚生部 事業報告

公募事業

“滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ”が 開催されました！

去る8月7日(日)に名神八日市カントリークラブにて恒例のゴルフコンペを開催しました。今年は11名の先生方のご参加を頂きました。ご参加して下さいました先生方、本当にお疲れ様でした。緑豊かな美しい自然の中で、県士会員が交流出来たことは非常に有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。

当日は猛暑の中での開催となり、熱中症などの心配もありましたが全員無事にホールアウトされ、その中で思い通りのプレーが出来た先生、ベストスコアを出された先生、スコアを崩された先生と様々で

した。今年度は接戦の末、滋賀医科大学附属病院の前川昭次先生が素晴らしいスコアで優勝されました。今後もこのような企画をしていきたいと考えております。その際は、是非、より多くの先生方にご参加を頂き大いに盛り上がっていかれたらと思います。

豊郷病院 奥村陽一



ご参加されました先生方、暑い中お疲れ様でした。また企画・運営していただきました幹事の先生、ご協力ありがとうございました。

厚生部では今後も公募事業を継続する予定です。企画をお持ちの先生方、既に仲間内で行っているスポーツ&文化サークルなど拡大して開催したい思いをお持ちの先生方がおられましたら、是非ご遠慮なく厚生部にご連絡・ご相談ください。

厚生部受付アドレス：ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp



第2回 施設対抗フットサル大会

参加チーム募集

昨年に引き続き、施設対抗フットサル大会を企画いたします。試合中の交代も自由ですので、初心者の方でも気軽に参加していただけます。観戦のみでも大歓迎です。優勝チームには賞品もあります！

皆さんで楽しむとともに士会員同士が交流する良い機会になれば幸いです！

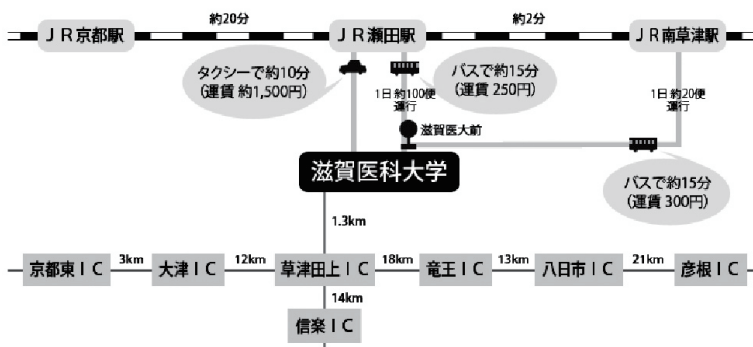
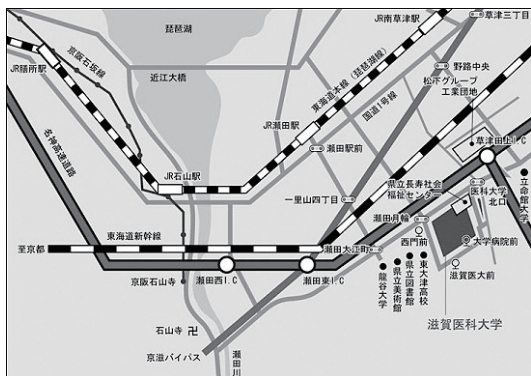
詳細は下記の通りです。

日 時：11月20日(日) or 27日(日)

※参加希望者には詳細決定次第
ご案内いたします

会 場：滋賀医科大学 体育館

費 用：500円/人



学内の駐車場は最初の1時間だけ無料で、以降1時間毎に100円の料金が必要です。

1施設から1チームのみ（5人以上）の参加とさせていただきます。

男性、女性、どちらでも参加して頂けます。(男女混合チームは6人出場可能)

参加チームの構成について、PTの先生を代表者としていただければ、OT・STの先生でも参加可能です。また、医師・看護師など施設スタッフの参加も認めます。

参加して頂ける施設の代表先生は、10月31日まで

にE-mailにてお申し込み下さるよう宜しくお願い申し上げます。また、ご質問等あれば遠慮なく下記連絡先へお問い合わせ下さい。

申し込み先：shibut@belle.shiga-med.ac.jp

連絡先：滋賀医科大学医学部附属病院

リハビリテーション部 洪川武志

TEL：077-548-2670 (代表)

申し込み締め切り：10月31日(月)

(社) 滋賀県理学療法士会 学術誌 【湖都】

第31号原稿募集のお知らせ

学術誌【湖都】第31号に掲載する原稿を募集します。当誌はI S S Nに登録されており、生涯学習プログラムの単位認定が可能です。是非、ご投稿ください(詳細は下記を参照下さい)。

また今年度から、研究と報告・文献抄録への投稿に対し、研究の公正を保つために査読が開始されます。査読基準は、ベテランの先生方からアドバイスを頂き、研究のスタイルが正しいかどうかや、研究がより良いものになるよう設定させていただいております(詳細は士会ホームページを参照下さい)。

日頃の皆さんの研究や活動を発表していただき、研鑽の場に来るようにご協力をお願いします。

<投稿規定>

1. 募集内容および執筆枚数

(1) 研究と報告

実験的研究、調査、症例報告などが対象です。文献、図表を含めて刷り上がり4~6頁(400字詰め原稿用紙17~25枚程度)として下さい。

(2) 印象記

学会、講習会などに参加しての印象についてまとめてください。研修旅行についてなど含みます。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。

(3) 文献抄録

英文等に限りです。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。

(4) 短 報

各部の活動紹介や成果のまとめ。刷り上がり2頁(400字詰め原稿用紙8枚程度)として下さい。

(5) P T苦楽部

日頃、P Tとして感じていること(苦しいこと、楽しいこと)など自由な意見を随筆風にまとめてください。刷り上がり1頁(400字詰め原稿用紙4枚まで)として下さい。

(6) 書 評

現在使用中の書籍で、臨床に役立ち、分かりやすい本をご紹介します。書名、著者名、出版社、定価等を明記し、刷り上がり1頁(400字詰め原稿用紙4枚程度)として下さい。

※ 詳しくは、(社)滋賀県理学療法士会ホームページ「原稿記入書き方2011」を参照して下さい。

2. 執筆規則

- (1) Wordを原則とします。(その他はお問い合わせ下さい)

「原稿記入書き方2011」別掲に則り、横書き、口語体、数字は算用数字、数量はS I単位とします。

- (2) 外国の人名には原語を用い、タイプまたは活字体で明瞭に書くこと、外国の地名はカタカナ書きとする。術語はできる限り訳語を用い、必要に応じて()の中に原語を入れる。

(例) 理学療法 (physical therapy)

- (3) 文献は、引用文献は引用順に、参考文献はアルファベット順に配列し、文末に掲げる。

A. 雑誌の場合(例)

- 1) 今井至：足趾変形矯正装具；エルコトン、ベルコプラストの活用、P Tジャーナル26：188-190、1992
2) Greer M.etal:Physiological responses to low-intensity cardiac rehabilitation exercises, Phys Ther 60:1146-1151、1980.

B. 単行本の場合(例)

- 1) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門、第2版、1981
2) Basmajian JV : Muscles Alive. Their Functions Revealed by Electromyography, 4thed Williams&Wilkins、Baltimore、1979.

- (4) 別紙 「湖都・投稿承諾書」・「投稿論文チェック表」(士会ホームページよりダウンロードしてご使用ください)に必要な事項をご記入いただき、投稿時に添付してください。

- (5) e-mailで投稿を優先してお願いします。図表等、重たい場合はメールでは送れない場合がありますので、その時は、CD-Rもしくはフラッシュメモリ等記録媒体での送付をお願いします。データ送付時に必ずウィルス対策ソフトでのチェックをお願いします。なお、記録媒体の返却をご希望なさる方は必ず明記下さい。

- (6) 著作権は(社)滋賀県理学療法士会へ帰属することを了承願います。

3. 校 正

著者校正は行いません。

4. 生涯学習基礎プログラム対象者（生涯学習部より）

論文の場合の単位認定について

- 1 ISSNの認可のある学術誌に掲載された論文
筆頭者5単位 共著者1単位

但し、学会抄録や地方会の学会特集号（発表演題の原稿）はこの限りではない。

- 2 依頼原稿、総説論文、著書についても同様に認める。

- 3 更新に際しては、論文の目次など証明になるものを添付する。

理学療法、湖都については、ISSNに認可されている学術誌なので、単位の認定は可能ですが、但し書きに該当する原稿（学会抄録や発表演題の原稿）については対象外となります。認定に際しては、生涯学習部に申請してください。（学

術誌部としては「研究と報告」等を対象と考えています。）

新人教育プログラム対象者については、3-6を認定いたします。

5. 締切日 平成23年10月末日

6. 本誌への投稿、問い合わせ先（ホームページにも掲載中）

〒524-8524 守山市守山5丁目4-30

滋賀県立成人病センター

リハビリテーション科 野洲達史

TEL：077-582-5031

FAX：077-582-5426

e-mail：ptshigagj@yahoo.co.jp

（件名に必ず学術誌湖都と入れてください）

Let's study.

10月分

平成23年度 第4回研修会案内

テーマ：「運動制御と運動学習」

日時：平成23年12月11日（日）

10：00～15：00（昼休憩12：00～13：00）

講師：平岡 浩一 先生（大阪府立大学総合リハビリテーション学部 教授）

会場：ピアザ淡海 大会議室

備考：受付は9：30～9：55に行いますので時間厳守でスムーズに研修会が進行できるようにご協力よろしくお願い致します。

該当単位：

- ①新人教育プログラム対象者

入会1年目：1-5

入会2年目：1-5もしくは2-5

入会3年目：1-5、2-5、3-5の内のいずれか1つ

13年度以降入会者：3-2

12年度以前入会者：3-1

- ②生涯学習基礎プログラム対象者

1単位

申し込み：下記のアドレスまでe-mailにて所属・

氏名をご明記の上お申し込み下さい。

件名には必ず「第4回研修会申し込み」とご明記下さい。件名に入力が無い場合、迷惑メールと判断がしにくくなり、申し込みを見落とす可能性がありますのでご協力下さい。

なお、県外・他職種の方はTEL・FAX・職種もご明記お願い致します。

参加者の名簿作成の都合上、必ず職場ごとに一括での申し込みにご協力をお願い致します。

e-mail：ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp

財団法人近江兄弟社ヴォーリス記念病院

清岡 哲也 宛

受付期間：

平成23年11月6日（日）

～平成23年12月3日（土）必着

研修会費：

県士会員 無料 他士会・他職種 1,000円

新人 紹介



大石 理奈

勤務先：南草津病院
出身：滋賀県
趣味：音楽鑑賞・映画鑑賞

ひとこと： 今年の春から南草津病院で勤務しております。毎日、仕事をしていく中で、出来ないことが沢山あり、知識や技術不足を痛感しています。南草津病院の先生方から親切、丁寧に沢山の指導を頂いております。これから、技術や知識向上が出来るように頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



宮 治 芳 行

勤務先：南草津病院
出身：滋賀県
趣味：野球、観光

ひとこと： はじめまして！！南草津病院で勤務しております宮治芳行と申します。就職して約半年が経ちました。毎日が充実し楽しく過ごしています。大変だと感じることもありますが一人前になるまでの修行だと思っています。南草津病院は新人教育が確立しているため業務の流れだけでなく理学療法の指導も多く受けられ、どんどんレベルが上がって行くことを実感できます。これからも業務1つ1つを真剣に考え、専門職として日々成長していきたいです。



勢 登 香 織

勤務先：南草津病院
出身：石川県
趣味：買い物

ひとこと： 今年の4月から南草津病院で勤務しております。日々、患者様の治療を進めていく中で、知識や技術不足を感じています。少しでも早く、患者様により良いサービスを提供できるよう自己研鑽し努力していきたいと思っています。



植 木 怜

勤務先：南草津病院
出身：滋賀県
趣味：スポーツ鑑賞

ひとこと： 理学療法士となり就職して数ヶ月が経ち、職場や仕事にも少しずつ慣れてきました。理学療法士という仕事の難しさを日々感じ、知識や技術不足を痛感しています。少しでも患者様のお役に立てるよう、一步一步着実に前進していけるように努力していきたいです。また、1年目の気持ちを忘れることなく、患者様と日々接することが出来る理学療法士を目指していきたいと思っています。よろしくお願いします。



徳 永 雅 之

勤務先：南草津病院
出身：愛媛県
趣味：スポーツ観戦・旅・宴

ひとこと： 今年の4月より理学療法士として就職して約半年になります。はじめは前職とは全く違う世界に戸惑いもあり、分からないことも多くありましたが、いろいろと学ぶことが多く、充実した日々を過ごしています。残念ながら徐々に知力・体力共に衰えを感じはじめている年頃ですが、気持ちは前向きに取り組んでいきたいと思っています。そんなオールドルーキーですが、どうぞよろしくお願い致します。



奥村 美沙子

勤務先：財団法人豊郷病院
出身：滋賀県
趣味：バスケットボール

ひとこと： この春から豊郷病院に勤務しております、新人理学療法士の奥村美沙子と申します。念願の理学療法士になれた嬉しさを実感しつつ、自分の未熟さを改めて実感しております。目の前にある疑問の一つでも多く自分なりの答えを見つけ出していけるように努力していきたいと考えております。また、学ぶ気持ちを忘れず、患者様と接していきたいです。今後とも宜しくお願いします。



大桑 佐知子

勤務先：財団法人豊郷病院
出身：京都府
趣味：テニス、旅行

ひとこと： この春から豊郷病院で勤務しております、新人理学療法士の大桑佐知子と申します。私は昔、三度の手術を行いリハビリを受けました。その時初めて理学療法士という仕事を知り、運命的なもので感じました。憧れの理学療法士になった今、自分の知識や技術不足に痛感しながらも、充実した日々を過ごさせていただいています。持ち前の笑顔を武器に少しでも患者様のお力になれたらと考えております。今後ともよろしくお願い致します。



田中 亮介

勤務先：財団法人豊郷病院
出身：滋賀県
趣味：体を動かすこと

ひとこと： この春から豊郷病院で勤務しております、新人理学療法士の田中亮介と申します。臨床に出て働きだし知識・技術不足を痛感しています。少しずつではありますが、先輩方に相談したり、自分なりに工夫したりして知識、技術を身につけ、一步步確実に前進していきたいと思っています。また、初心を忘れることなく患者様のために力を出せるように日々精進していきます。今後とも宜しくお願いします。



小椋 法子

勤務先：財団法人豊郷病院
出身：滋賀県
趣味：テーマパーク(TDR・USJ)、ショー観劇、旅行

ひとこと： この春から豊郷病院に勤務しております、新人理学療法士の小椋法子と申します。人生の大きな目標であった理学療法士になることができ、毎日がとても楽しく、あっという間に5ヶ月が過ぎました。しかしこれが新しいスタートであり、日々先輩方、そして患者様に教えて頂くことばかりで知識・技術不足を痛感しております。常に目標を持ち、目標を達成するためには何が必要かを考え、そして患者様に繋げることができるよう、努力していきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



大谷 明日輝

勤務先：公立甲賀病院
出身：滋賀県
趣味：スポーツ(サッカー)

ひとこと： はじめまして、公立甲賀病院の大谷明日輝と申します。入職して、数ヶ月が経過し、なんとか職場の雰囲気にも慣れ始めてきました。患者様やその家族の方々を少しでも笑顔に出来る様、知識、技術、人間性を磨いていきたいと思っております。初心を忘れず、日々精進していきますので、今後ともよろしくお願い致します。



堀 大樹

勤務先：財団法人青樹会
長浜青樹会病院セフィロトヘルスケア
出身：滋賀県
趣味：スノーボード、釣り、フットサル、サッカー

ひとこと： はじめまして。今年の4月から長浜青樹会病院で働かせていただいている堀大樹と申します。働き出して早4ヶ月が立ち、仕事にも少し慣れてきました。私の職場は精神科病院であり、当院でも初の常勤PTとして勤務することとなりました。そのため、先輩もあらず分らないことだらけで困ってしまうことも多く、今後は今まで以上に勉強し自己研鑽に努めていくことを強く思うこの頃です。また先輩方にはご迷惑等々をお掛けすることもあると思いますが、何卒よろしくお願い致します。まだまだ未熟者ですが治せるセラピストになれるよう頑張っていきたいと思っております。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

事務局 ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

入会 異動 財務関係 メーリングリスト登録 公文書発送

hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 平岩

届け出書類等郵送先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 平岩康之まで

TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、本文には、氏名、所属施設、会員番号(新入会の方は必要ありません)を記入して平岩までメールしてください

士会員メーリングリストアドレス shigapt-ml@freeml.com

発送物関係 reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出ください

ホームページ原稿受付 shigapt-it@mopera.net 担当：公立甲賀病院 奥邨

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

会員専用ページ ユーザー名 shiga-pt-75 パスワード since1975

士会ニュース原稿受付 shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

研修関係 ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリス記念病院 清岡

生涯学習関係 h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 川崎

TEL 0749-46-2322

厚生事業関係 ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：蒲生病院 奥田



事務局 だより

10月分

○会員数 631 名 (平成 23 年 9 月 1 日現在)
○賛助会員 5 社

会員異動	(平成 23 年 4 月 1 日から 6 月 30 日)
異動種別	件 数
休会	2
県内異動	3
転出	3
転入	3
届出事項変更	2
入会	8

ご 報 告

平成 23 年 8 月 19 日付で公益社団法人移行申請を行いました。今後審査会にて公益法人として適当か否かを審査していただき、適当であれば認可される予定です。

会費納入のお願い

平成 23 年度の会費納付をお願いいたします。

会費納付先 滋賀銀行 瀬田駅前支店
普通 741056
シガケンリガクリョウハウシカイ

会 費

新卒 1 年目 19,000 円 (入会金 5,000 円、協会費 5,000 円、士会費 9,000 円)

2 年目以降 20,000 円 (協会費 11,000 円含む)

新卒以外の入会者 25,000 円

(2 年目以降の会費 + 入会金 5,000 円)

会費の領収書が必要な方は会費納付後 (会費未納の方の分の依頼がよくありますので十分確認してください)、施設ごとにまとめて下記の事項をメールに記載してこちらに送ってください。

必要事項：領収書宛先、送付先、領収書の必要な方の氏名、施設名

協会費クレジットカードの切り替えについて

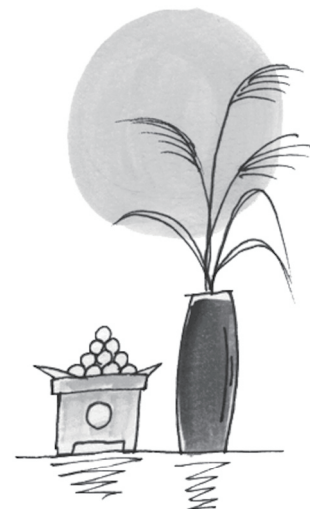
すでに会員様には協会より 2 月と 4 月に案内されていますが、Nicos カードから楽天カードへの切り替えをなるべく速やかに行っていただきますようお願い申し上げます。手続きは協会の会員専用サイト <http://www.japanpt.or.jp/gl/> より行ってください。詳しくは協会より送付された「協会会員証および指定カード変更のお願い」と「ニコスカード提携終了に伴う手続きのお願い」という文書をご覧ください。

この件に関するお問い合わせは日本理学療法士協会事務局 TEL 03-5414-7911 までお願いします。

異動届、入会届送付先 会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院リハビテーション部 平岩康之 宛
問い合わせ hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp



編集後記

節電の夏も終わり、鈴虫の鳴き声が聞こえる季節がやってきました。今年入職された先生方も仕事に慣れてきたでしょうか？
過ごしやすい季節ですので、様々な事にチャレンジして行きましょう。



広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

http://www.aino.ac.jp